

これまでの主な実績

- 大阪府初となる「ジェネリック医薬品 差額通知サービス」の提案・実現
〔門真市の財政悪化の主要因である国民保険事業の改善・市民の医療費削減〕この取り組み及び職員による収納率向上により、特別調整交付金 1 億 8 千 2 百万円が交付されました。そして何より、患者側の薬代の負担が減り、門真市の負担も減ることになります。
- 市税等コールセンターの設置
堺市で大きな効果をあげている民間委託による「市税コールセンター」を設置し、公平公正な税負担への取り組み財政健全化の一助になっています。
- スポーツ施設予約システム構築
近隣市では平成8年4月よりスポーツ施設予約システムがサービス提供されてきましたが、遅れること14年余り、ようやく門真市でも開始される運びとなりました。
- 地域活性化への取り組み
市民公益活動事業補助金(企画提案型)を創設 草の根の市民活動を財政的に支援。
- 門真市議会議員政治倫理条例の制定
税金の用途を精査する側の市会議員が、市から補助を受ける団体の役員に就くことを禁止する等の条例を制定。
- 野良猫去勢対策の予算化
環境政策としての野良猫去勢対策を地域猫団体と協力して制度化。
- コミュニティバス 運行開始
- 門真のIT化への取組
ツイッターによる情報発信を提案実現。公的施設への公衆無線LANスポット整備を提案実現。
- 市民プラザに談話交流できる 憩いのスペースを設置。

これからも「暮らしやすい、誇りの持てる 門真市」を目指し、提案力をアップして、市政に反映していきます。



2期8年の
議員経験を活かし、
市民のために働きます。

土山しげき プロフィール

昭和41年 門真市に生まれる
学歴 私立たちばな幼稚園卒園
沖小学校 入学
五月田小学校(沖小より分校)
脇田小学校 卒業
門真市立第4中学校 卒業
府立門真高校(現 門真なみはや高校) 卒業
追手門学院大学 経済学部 経営学科 卒業
職歴 大阪トヨタ自動車株式会社 入社
(現 大阪トヨペット株式会社)
現在 有限会社土山印刷 代表取締役

経歴(地域活動関係)
・門真青年会議所 理事
・島頭南自治会 副会長
・守口門真商工会議所 議員
経歴(行政関係)
・平成19年4月 門真市議会議員に初当選
・平成24年4月 二期目当選
副議長
議会運営委員会 委員長
行財政改革推進特別委員会 委員長
決算特別委員会 委員長
民生常任委員会 委員長
総務水道委員会 委員長
建設文教常任委員会 委員長
議会改革協議会
くすのき広域連合議会 議員
守口門真消防組合議会 議員
門真市社会福祉協議会 監事
門真市総合計画審議会 委員
門真市都市計画審議会 委員
門真市交通安全推進協議会 委員

土山しげき後援会

〒571-0013 門真市千石東町35-23
TEL 072-881-8541 FAX 072-881-2496
E-mail s-tprint@mbr.nifty.com

2014.10

門真市民が
希望を育てる

「まちづくり」
「ひとづくり」



土山しげき後援会

入会案内

門真市を笑顔あふれる街にするために

行財政改革のさらなる推進



財政の健全化なくして、市民サービスの向上は考えられません。継続して、行財政改革を行い、スリムで機能的な門真市を創っていきます。

魅力あるまちづくりへ



「門真に住んでよかった、住み続けたい」と思える街にする。生まれ育った「ふるさと門真」をよくしたい。そのためにも、密集住宅地を整備して、「魅力ある街づくり」をします。

モノレール南伸の推進



門真市の北部には、京阪電車・モノレールがありますが、モノレールが延伸されると、鶴見緑地線と連絡でき、南部を活性化できます。通勤通学の利便性が高まります。早期の実現を目指します。

高齢化社会への取組



高齢化社会も、より高齢化が進み、認知症などの問題もよく耳にするようになりました。年齢の方が生活しやすい街にしていける事を基本として、介護保険制度の健全化や医療費の問題なども積極的に取り組んでいきます。

学力向上への取組



最近の学校教育の取り組みにより、少ずつ、学力が向上してきましたが、依然、他市と比べると厳しい状態です。「学校教育の充実」と「家庭学習」が両輪となり、子供たちが未来に希望が持てる環境づくりをします。

公民協働の活性化



門真市の施策の柱である「公民協働」。これまで、NPO育成により課題解決に取り組んできました。さらにこれからは「地域会議」を創設し、地域課題を解決できるシステムづくりとその運用をサポートしていきます。

住みたいと思う「門真市」になるために。

平成19年の初当選以来、「財政破たんの回避」「公民協働の推進」を議員活動の柱として、取組んできました。また、副議長としても、議会改革を推進し、「議会の録画中継」や「見やすい議会だより」も実現してきました。

門真市はこれから2つの面で大きく変わります。1つは地域の課題は地域で解決する「地域会議」の創設。各中学校区に設置される「地域協働センター」を拠点として、「地域会議」が活性化することは公民協働の1つのゴールにもなります。各部署との連携ができるよう、しっかりと支援していきます。もう1つは新体育館や生涯学習複合施設などの街づくりが目に見えてきます。危機的な財政状況から脱却し、収支均衡予算型都市として、密集住宅地から空間のある街への転換がはじまります。58億円もあった国民健康保険累積赤字もようやく、解消へ目処がたってきました。無駄遣いをせず、街づくりをしっかりと行う門真市をこれまでの経験を活かし、提案とチェックをして参ります。

今後も皆様の声を市政に反映したいと考えていますので是非とも後援会へご入会頂き、ご支援いただきますようお願いいたします。

土山しげき後援会

会 則 (抜粋)

名称：本会は、土山しげき後援会と称し、主たる事務所を門真市におく。

目的：本会は、土山しげき氏を後援することにより、市政の発展と市民生活の向上を図り、あわせて会員相互の親睦を深めることを目的とする。

事業：本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。
・研修会等の開催、会報等の発刊及び配付
・その他本会の目的達成のため必要な事業

経費：本会の総費は、寄付金その他の収入をもって充当する。